令和８年度 品野中学校だより　　第６号

校訓　# 正しく 明るく 健やかに

10月14日発行



品野の秋、特別な時間

校長　加藤　弓子

絵本『ねないこだれだ』や『めがねうさぎ』の作者せなけいこさんの展覧会をやっていると聞き、刈谷へ。高嶋ちさ子さんのコンサートで愛知芸術文化センターへ。アジア大会の競歩とサッカーを観戦。名古屋市美術館で「ゴッホの跳ね橋」を鑑賞。今年の９月は、私にとって、スポーツの秋、文化の秋のウォーミングアップのようなものとなりました。

そして、いよいよ本番。Ａ組のトーンチャイムとハンドベル演奏、音楽部の演奏、英語スピーチ発表、クラス合唱。品野中文化祭では、子どもたちの素敵な姿があふれていました。特に３年生のクラス合唱は圧巻で、「一生懸命に取り組むことのかっこよさ」を下級生に伝えてくれました。校区の３小学校と一緒に取り組んだ全校合唱では、「品野地区の一体感がとてもよかった」という声を聞き、胸がいっぱいになりました。

学校行事というと、「楽しい思い出をつくる場」というイメージがあります。でも、学校行事は、当日までの準備も含め大きな意味をもちます。「人と協力する力」、「自分で考えて行動する力」、「思うようにいかないことを乗り越える力」、「やり遂げる喜びを味わう力」など、普段から培っている力を、実際の活動の場で発揮し、成長を実感できる貴重な場となります。自分が一所懸命に取り組むことだけでなく、周りの人たちが真剣に活動する姿を目にすることで、子どもたちは成長の礎を築いていくように思います。文化祭前日に、３年生が合唱練習に取り組む姿を見たときには、思わず目頭が熱くなりました。いつもの生活の中では気づきにくい子どもたちの成長した姿を、そこに見ることができました。

ところで、アジア大会は夫と、「ゴッホの跳ね橋」は友人と、高嶋ちさ子さんのコンサートは母と、そして、せなけいこさんの展覧会は２人の娘と行きました。何かを楽しむ時、誰とするかも大切な要素になります。文化祭では、私の大好きな品野中学校区の児童・生徒、保護者の皆様、地域の皆様と時を同じくすることができ、幸せな思いに包まれました。

さあ、次の本番は体育祭！文化祭で見せてくれた姿をどんな形でつないでいくのか。また、文化祭で見た「よさこい」パフォーマンスをどんな思いで自分たちの演舞に取り入れていくのか。子どもたちのさらなる成長をみなさんと楽しみにしたいと思います。

☆各種講座を行いました！☆

「からだの教室」（１年生）

椙山女学園大学の中嶋文子先生にお越しいただき、１年生とＡ組を対象に「からだの教室」を行いました。

自分のからだやこころを大切にすること、そしてお互いを尊重することについて考える、とても大切な学びの時間となりました。





「アウトリーチプログラム」（全校）

瀬戸市文化振興財団のアウトリーチ事業で、ギタリストの井草聖二さんをお招きし、体育館でコンサートを開催しました。

最後には、３年生の生徒３名とのセッションも披露していただき、コンサート後には「自分もギターを弾いてみたい！」という声も聞かれ本物の音楽に触れる素晴らしい体験となりました。

体育祭のご案内

【スローガン】**「頂天奪取」（ちょうてんだっしゅ）**

【会場】品野中学校運動場

【日程】１０月３０日（金）

予備日１１月２日（月）

８：５５～　開祭式

９：１０～　競技開始

※生徒会種目、応援合戦等

１１：３０～　閉祭式

１１：５５～　写真撮影・片付け

１２：２５～　給食・振り返り・帰りのＳＴ

１３：４０～　生徒下校（部活動なし）



<スローガン>



<昨年度の様子>

３年生を中心とした縦割りでの応援合戦は、見ものです。

生徒たちの活躍する姿をご覧いただけますと幸いです。

申し訳ありませんが、駐車場がないため徒歩や自転車でお越しください。